

第2学年*組 国語科学習指導案

平成*年*月*日(*) 第*校時 *教室 指導者 ** **

育成する 国語の能力	古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。(1)イ		
単元名(題材)	故事成語の作品を通して、古典と現代とのつながりの理解を深めよう。		
単元目標	<p>○自らの教訓を作成することにより、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めようとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○故事成語の作品に込められた物事の考え方を読み取ることができる。(読む能力) (1)ア</p> <p>○自らの教訓を作成することにより、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めることができる。(知識・理解) (1)イ</p>		
単元の 評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	自らの教訓を作成することにより、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めようとしている。	故事成語の作品に込められた物事の考え方を読み取っている。	自らの教訓を作成することにより、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めている。
取り上げる 言語活動	故事成語の作品に込められた物事の考えを読み取り、その作品構成にならない、自らの教訓を書く。		
題材(教材)	「助長」「嬰逆鱗」「画竜点睛」「推敲」(第一学習社 標準古典A物語選)		
単元(教材) について	<p>(1)教材観：故事成語の作品に込められた物事の考え方を読み取ることにより、故事成語の作品構成が、出来事の意味付けという構成になっていることに気づかせる。そして、その作品構成にならない、自らの教訓を書くことによって、古典と現代とのつながりについて理解を深めさせたい。</p> <p>(2)生徒観：生徒から「何のために古典を学ぶのか」「古典の授業で学んだことは現代では使えない」などという発言を耳にすることがある。このことから、古典を学習することに対して実用性を見出せていない生徒が多いのではないかと感じている。そこで、本単元を通して、古典と現代とのつながりを実感させたい。</p> <p>(3)指導観：故事成語の作品に込められた物事の考え方を読み取らせるために、内容読解のワークシートを活用するとともに、それぞれの故事成語の意味について、本文の内容から推測させる活動を取り入れ、出来事の意味付けという物事の考え方を読み取らせる。また、自らの教訓を書く活動の前に、練習として教訓を書く活動を設ける。そして、そこで書かれた作品をクラス全体で共有することにより、書き方を学ばせたいとも考える。</p>		
指導計画 (学習計画)	主な学習活動(全4時間)		主な評価
	1 「助長」内容読解		
	2 「助長」作品構成の理解及び教訓を書く活動(練習)	故事成語の作品に込められた物事の考えを読み取っている。	(読むこと)
	3 「嬰逆鱗」「画竜点睛」「推敲」内容読解		
	4 故事成語の作品構成にならない、自らの教訓を書く活動(本時)	古典と現代とのつながりについて理解を深めている。	(知識・理解)

本 時 案 (第4時)

本時の目標	自らの教訓を作成することにより，古典と現代とのつながりについて理解を深める。 (知識・理解)	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
<導入5分>		
1 前時の復習及び本時の目標を確認する。	前時までの学習を振り返る。特に，それぞれの故事成語の作品構成について確認させる。	
自らの教訓を作成することにより，古典と現代とのつながりについて理解を深める。		
<展開38分>		
2 教訓の書き方を確認する。 (個人活動) (5分)	第2時で生徒が書いた教訓の中から，何点かをモデルとして示し，改めて教訓の書き方を学ばせる。特に，「教訓の意味を直接示さずして書く」という点に注意させる。	
3 故事成語の作品構成にならない，自らの教訓を書く。 (個人活動) (15分)	「体験 (エピソード)」，「作品のタイトル」，「得られた教訓の意味」の3点を考えるように指示する。 ※「得られた教訓の意味」については明記させず，ペア活動の際に，当人以外の生徒が，その作品の教訓の意味を考えて答える活動につなげる。	A「故事成語の作品構成にならない，自らの教訓をつくることができている」 (ワークシートの確認) B「自らの教訓をつくることができている」 (ワークシートの確認)
4 各自の作品を評価し合う。 (グループ活動) (15分)	相互評価の際は「作品のタイトルと体験談の内容から，どのような教訓なのかを考えさせる」「その作品の良い点を書かせる」ことに注意させる。	
5 故事成語の作品構成について改めて確認する。 (個人活動) (3分)	活動を経た後に，改めて，故事成語の作品構成が出来事の意味付けであるということを確認させる。そうすることによって古典の物事の考え方が現代にも通じていることを印象づける。	
<振り返り7分>		
6 本時の活動を振り返るとともに，古典学習へのアンケートに答える。 (個人活動) (7分)	他者からの評価を受けた自身のワークシートを確認させ，自己の振り返りを行わせる。また，今回の単元の学習を通して古典学習に対する意識がどう変化したかについてアンケート調査を行い，生徒の古典に対する関心について，実態の把握に努める。	